

# 平成 30 年度 事業計画書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人 福井県アイバンク

平成 30 年度 事業計画（案）  
（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

〈事業 1〉 眼球の斡旋等に関する事業

1) 眼球提供者（献眼者）の募集及び登録

- (1) 臓器提供病院（県内 10 か所：大学・県立・済生会・赤十字・厚生・福井総合・公立丹南・勝山・市立敦賀・杉田玄白記念小浜）  
⇒ 「献眼用リーフレット」の設置とポスター掲示

- (2) 眼科医院・メガネ販売店（眼鏡技術者協会会員店）  
⇒ 店頭でポスター掲示

- (3) 登録啓発 ⇒ LC イベント共同参加、街頭キャンペーン時の配布

(4) 登録希望者の登録業務

① 新規登録業務

② 再登録希望者登録（※日本アイバンク協会献眼登録確認フォローアップ支援事業）

・平成 27 年度登録者の再登録意思確認（228 名対象）

【目的】

- 献眼登録に関する意思の再確認
- 連絡先変更における情報更新の効率化
- 同居家族への「献眼意思」の周知
- アイバンク活動・角膜移植医療への啓発

- (5) 献眼登録者のデータベース化による情報管理システムの作成とデータ更新

【作業目標】

- 死亡者照合・案内状返却者入力作業による登録情報の整理
- 過去 4 年分のお悔やみ照会

2) 眼球の斡旋に関する業務

- (1) 眼球摘出（献眼）時のコーディネーター業務

- (2) 強角膜切片・保存強膜の作成・保存並びに斡旋作業

- (3) ドナーファミリーへのケア対応

① 眼球提供者（献眼者）の葬儀参列・弔辞並びにアイバンク感謝状の贈呈

② 家庭訪問（移植報告）

③ 厚生労働大臣からの感謝状の代行贈呈（ドナーファミリーの集いで）

- (4) 病院開発 献眼マニュアルの作成・見直し 献眼シミュレーション開催 など  
済生会病院 RRS の導入（別添資料参照）

3) 角膜移植希望者の募集及び登録

- (1) 登録希望者の登録業務
- (2) 登録希望者データの更新業務  
⇒医学基準委員会にて、移植登録者の見直し作業（6月決算理事会）

4) コーディネーター教育

- (1) 関係学会・セミナーの参加  
・日本組織移植学会・日本角膜学会・日本アイバンク協会主催セミナー・  
東海北陸アイバンク広域連絡会・JSTT コーディネーター合同セミナー等への参加
- (2) 関連学会への学会発表・眼科雑誌への論文発表

〈事業2〉眼に関する保健衛生の知識の普及啓発

1) 広報誌の発行事業

- (1) 福井県アイバンクオリジナル広報誌（News letter）の定期発行
- (2) 日本アイバンク協会広報誌「Eye Bank Journal」の定期配布

2) ホームページの活用

- (1) ホームページ・facebook からの情報発信
- (2) 行政機関・眼科医院・メガネショップ・製薬会社等関係機関のホームページにバナーの設置依頼

3) 「移植医療推進月間」イベントへの主催・共催

- (1) 「グリーンリボン支援キャンペーン」におけるイベント開催

① 「10・10目の愛護デー・目の無料検診」（資料3）

開催予定日案 10月20日（土）※11~14日：日臨眼学会

（※担当病院：赤十字病院・済生会病院・大学病院から Dr・ORT を1名ずつ）

② 「ドナーファミリーの集い」 開催日：11月23日（金祝）（資料4）

- (2) 県・地域自治体開催イベントへの共催・参加

- ① 「臓器移植・角膜移植・骨髄移植について考える県民の集い」
- ② 「臓器移植・角膜移植・骨髄移植普及啓発街頭キャンペーン」

4) 学習会講師派遣事業

- (1) 児童・生徒に命の大切さや移植医療の現状を分かりやすく理解してもらうため、  
県内の小・中学校・高等学校・短期大学・大学・専門学校等の学習会にアイバンク  
コーディネーターを派遣する